ロッキーのHP→www.asahi-net.or.jp/~sd5h-mksm/rockytop12.html

PICKIN' SINGIN' Rocky Top GINZA かわら版

'01, 9, 5 発刊

Yeah!マネージャーNo.28

～カラオケリモコンを知る者～ 作. チーフ井上

拝啓 69号(秋)

いつまでも健康でいて

9月 秋です。8月は筆者多忙のためお休みさせていただきました。すんません!
7月の暑さとうら腹にとう変に涼しくなりました。夏は何故短いんだろう?と毎年思う私です…

今月の田口マスターの動き!

インシュリンおたくの巻→ またしても TV番組の「ダイエット関連」の情報に変と騒がれる マスター田口! エミールストーン、幸福のひまわりの種、やせる運動器具、飲むだけでやせる薬(うんこがいっぱい出るだけだった)

インシュリンが発生しにくくやせる

やせる!

とetc…マスコミの情報に異様に弱い超一般庶民さがまたしても爆発!「インシュリンという物質が体内に発生するのを抑えればやせる!」という特報に強く打たれたらしい。なんでもパスタよりうどんの方がインシュリンが多く出るとか普通の食パンよりライ麦パンの方がインシュリンが出にくい!など克明にチェック。

ライ麦パンに変えよう

パンはライ麦パンに変え、パスタは以前より好きだったのでそのまま食いまくっている。甘いものも変わらず続投だ。

そして

ハナマサでサーロインステーキ980円安かったぞ

と言ってステーキも食いまくる毎日。それで最近

インシュリン抑えるんのに全然やせない

と子供のように悩んでいる。そんな44才だ!

ライ麦パンとか以前にステーキを食べなきゃいいのに…と思うのだが、「インシュリンが問題なんだ!」と開き直られてしまいこちらとしても言いようがない。こんな空しい生活のインシュリン田口に誰かなんとか言ってやって!これから食欲の秋という恐ろしい季節が始まるからね…

@お見合 相手募集してます!スタッフへ声かけてね!

チーフ井上の北朝鮮紀行 最終会

～元山(ウオンサン)の別れ～

別れの時が来た。一番仲良くなったガイドのコンさん、俺と三味線先生と名前をつけ、笑っても叩いても、日本の謝罪問題の時は俺に罵倒に怒りを見せた。そんな彼が無言で俺の肩にポンと手を置いて寂しそうな顔をするのだった。胸が熱くなった。こんなにも情のある人達を日本は一色たに「北朝鮮の不気味な奴ら」というイメージで判りつぶされているのだ。

どしゃ降りの雨だった。港の別れはつらい。俺達200人はとんでもデッキに降りて手を振った。覚えたての朝鮮語を叫び、お互いの名を呼んだ。俺は教えてもらった「統一の歌」を歌った。途中でつまると港から朝鮮の人達(10人くらい)が後をみんなで歌ってくれた。

やがて1人、また1人と泣き出した。すると「泣かないで一心で泣いて顔で笑って～」と朝鮮の人達が叫んだ。船が出ると200人の声は一斉に高まりみんなの(ソンセケモヨ(さようなら))がこだました。朝鮮のガイドさんは港湾面の門番と交渉した。そして門が開かれ、提防されれまで全員走ってきた。傘を投げ出し、両手をふってくれた。その姿に俺達は胸を打たれた。俺達も傘を放り、すがめれになりながら、もう会えないかもしれないアジアの友達に手をふった。最後まで固くなに心を開かなかった朝鮮の女の子のガイドが泣いているのも見えた。お互い見えなくなるまで手をふった。短い間だったが俺達は明らかに友達になれた。コンそしてこの日本にも来なさいと言うと寂しく笑って何も答えなかったのが印象的だった。今回の旅で分かったこと、それはお互い洗脳し合っているということ。日本は北朝鮮を北朝鮮は日本を極端なイメージでとらえている。しかも国家間の政治をレベルで俺達は友情を結ばない状況に追いつめられているのだ。北朝鮮より日本の方が正直で幸福だと言うのも断言できない。目標を失い、年3万人以上の自殺者が出る日本より、全正日のもと、みんなで力を合せて必死に生きる彼らの方が幸福かもしれない…それは「生きてる」というパワーがシンプルに伝わってくるからだ。みんなはどう思う?「北朝鮮」とにかく行ってみないと分からない国だ。百聞は一見にしかず、という言葉がまさにぴったりのところ。最後にこの旅の中で作った彼の歌の詞をのせて一年にわたった「北朝鮮紀行」を終わらせていただきます。

アンニョンハセヨ カムサハムニダ

元山の港、別れの雨に
濡れながら手をふろう 元の人達
はいちゃたのだよ 笑えないと
傘もささずいつまでも 手をふって
38℃に引きさいたのは
僕がいつか犯した侵略を
涙が溢れた そのはずなのに
すがめれでしいつまでも見送られた
遠い日のこと 遠い人のこと
もう今とて全て 忘れられていく
今思い出を 今見つめよう
そこから始まる 新しい出会い

アンニョンハセヨ カムサハムニダ
お互いのこと もっと知りたいね
アンニョンハセヨ カムサハムニダ
こんにちは そして ありがとう

知りもしないで 話もしないで
人が人に線を引いていないか
私の心 あなたに合わせ
少しずつ 歩み始めよう
歴史が動き 涙が溢れ
美しい夜は 口を噤び
祖国のため 目をとがらせて
その時まで 港で泣き崩れる

こんにちは そしてありがとう

2001 箱根ブルーグラスフェス

―新世紀はスタンレー丸山で始まった―

スタンレー丸山 箱根を制覇

箱根は俺のもの

ついにロッキーの全員スタンレー丸山かてのバーを成いただ。彼が会場に到着した2/4 斉板 彼を一目見ようとベテランブルーグラッサーが集結。箱根の山は一気にチキン・フォー・ダウン一色となった。翌土曜の19に20、ついにスタンレー丸山とハウスウンランボーイズがデビューライブを飾った。歴史的瞬間だった。会場は割れんばかりの喝采、あちこちの感動に涙を流すものさえいた。

ドブロの小島さんも感想を話してくれた。

すげー迫力だ

と熱く

と熱く

アイドルの上海越田と嬉くさいアイドルを暴露しながらもご満悦の様子。彼はスタンレー丸山と演奏したいがため、それだけの情熱でわざわざ上海から来日したのだ。

そんなわけで日本ブルーグラス界の21世紀はスタンレー丸山で華開けしたと言っても過言ではないだろう。彼はすでに来年の箱根に標準を合わせ、今日もバンジョーと向き合うのだ!

箱根コンベンション チーフ井上2年ぶり通算3度目の優勝!

中沼さん あと1回だぜ

→昨年は北朝鮮行きのため出場を断念したチーフ井上が今年は出場し、見事優勝。これで通算3度目の優勝となり、バンジョーの中沼さんの第24回の優勝回数にあと1回と迫った。ネタは「ローハイドの唄」モンローチューンの「ローハイド」に詞をつけて唄いしかもコントリンゴロを弾きながらという荒技だ。サポートする彼は上海越田。彼のためにあるような愛情たっぷりの仕事に会場も大受けだった。

2位は昨年優勝の北大OB橋本さん「太陽にほえろ」全テーマをストリング仕立てにした生ギターレ本でプレイ。さすがの一言だったが選曲がブルーグラスじゃなかったのが敗因だろう。3位は天才ベーシスト キミちゃん、グリスマンのセクシーなダブルベを演奏。ソンコペを効かせたベースはクルーもあり、ほとんどアダルトなプレイに観客を驚かせた。そして最高賞(昨年は特賞)中沼氏は6位という結果。要のハルちゃんはこれから少なくとも1年は「7位の男」と言われることとなってしまった。

まもなくも自慢気にロッキーの入口から入ってくる新聞に「ロッキーも解っているので中沼さんロッキの演奏前にはそれを見て、テンションを上げていって下さい!

感動!元ロッキスタッフ越田栄&優子の結婚式ッ!

フェス会場にて～(8/25(土)深夜 2:00～)

ブルーグラスの叶なとと言われ、ブルーグラスが恋人なのか?と思われていた あの越田栄さんの手作り結婚式がさそやかながらも2人の愛の絆を深めた。箱根フェス会場の川辺あたりで深夜2時に行われた。オルモン山崎、小麦ちゃんが地ちゃん 坂野さんのフィドルによるウエディングマーチで始まり、ケーキ入刀、のびるによるアメージンググレースのかけ合唱チーフ井上の祝辞、乾杯の時にはたくさんの人達が集まり、暖かな拍手を送ってくれた。箱根の山に包まれおいしい空気とブルーグラスサウンド、2人も祝う優しい空気は映画を見てるようで妙に感動的だった。

越田もみんなもブルーグラスと出会えて良かったなー!と思いなしたが涙が出ました。キスタイムの越田は人間っぽく唇を合わせ、ロボットにも感情があったのかーと人間側が考えさせられる瞬間だった。

というのは冗談で、コミカルな姿が大受けでした。

最後に越田もみんなで胴上げ、箱根の山に歓声が上がり、感動の結婚式が終わりました。

人の心と音楽って本当に暖かくていいもんだーと思うよ、本当に。いつもこういう心でありたいね。